

追憶(ツイオク)追は過去を追う意。昔のこと
を思い起こしてなつかしむこと。

対句(ツイク)対照的に並べられた二つの
句。

追儼(ツイナ)儼は呉音、漢音は打ダで、人
が鬼を打つの意。節分の夜、豆をま
いて鬼(病気などのわざわいの象徴)
を追い払う行事のこと。昔は、大晦日みそか
に行なった。

痛痒(ツウヨウ)痛みとかゆみと。例 痛痒
を感じない(痛くもかゆくもない、つま
り、平気だという意味)

定款(テイカン)款は規約の箇条書き。会
社などの組織や活動の根本規則。ま
たそれを書きしるしたもの。

庭訓(テイキン)家庭の教訓。しつけ。

遞減(テイゲン)遞は遞送の項参照。次々
と減っていくこと。また、減らしていくこ
と。

抵抗(テイコウ)抵は手でおしのけること。
抗ははりあうこと。外力にはりあい、そ
れをおしのけようと努めること。

体裁(テイサイ)外から見える物の形や様
子。外見。また、他人に対するみえ。

綴字(テイジ)ことばのつづり。スペリング。
“つづり字”とも読む。

遞送(テイソウ)遞テイの呉音は代ダイ。代かわる代かわる行
くが本義の字。宿駅では、馬を代えて、
次から次へと人や物を運んだ。これが
遞送である。ゆえに、宿駅を、駅遞と
言う。

抵当(タイトウ)抵は手が触れる、当たるの
意味がある。相当するの意。借金の
際、その金に相当する物を相手に渡

す、その品物。

敵愾心(テキガイシン)愾の漢音はキで、
喟キ(ため息)が本義。慨に慣用される。
敵に憤慨(怒ること)してこれを倒そう
とする心。

剔出(テキシュツ)剔はえぐる。悪い所をえ
ぐり出すこと。

覲面(テキメン)覲は“見る”“人に会う”意。
覲面は“見ている面前”転じて“すぐ
様”の意に用いられる。例 薬が覲
面にきいた

剔抉(テキケツ)抉もえぐること。人の秘密や
欠点などをあばくことに用いる。

撤廃(テッパイ)撤は取り除くこと。今まで行
なわれてきた制度や法規などを取り
やめることに用いる。